

順天堂大学練馬病院外科だより

脳神経外科：新科長のごあいさつ

前任の菱井が順天堂練馬病院開院からのメンバーで、この度20年の勤務を終えて定年退職となりました。後任として科長を引き継ぐ徳川です。

脳神経外科は花形の脳腫瘍、脳血管障害から始まり、外傷、てんかん、水頭症、脊髄、小児など多岐に渡ります。近年のトピックスとしては脳梗塞の超急性期治療としての血栓回収療法や、パーキンソン病に対する外科治療などが挙げられます。脳血管疾患に対するカテーテル治療は日進月歩で、去年の常識が来年には常識ではなくなっています。「手術で治る認知症」と言われる水頭症の手術は1時間もかからないで終わります。60年以上の歴史がある手術用顕微鏡も進化していますが脳腫瘍や脳出血に内視鏡を使う時代です。内視鏡に対して外視鏡という新たな武器も登場しています。そのうちダヴィンチのようなロボット手術も進出してくるでしょう。頸部頸動脈病変、頭痛診療、顔面けいれん、三叉神経痛も脳神経外科の守備範囲内です。「それ、全部練馬病院でできます。」



若手の顕微鏡手術の助手を務める筆者(左)

とは言い切れませんが、専門外の疾患や稀な疾患の場合は助っ人を呼んだり、順天堂本院(御茶ノ水)と連携したり、順天堂ネットワークをフル活用します。まずはご相談下さい！

脳神経外科 徳川城治

総合外科・消化器外科：練馬こぶしハーフマラソン

毎年3月に開催されている練馬区の一大会ともいえる練馬こぶしハーフマラソンは、光が丘公園をスタートとゴールとする参加者数5000人規模でかつ、毎回、山の神といわれた柏原竜二さんや谷川真理さんなどの豪華ゲストランナーが参加する大会となっております。順天堂練馬病院からもメディカルランナーや救護隊などとして大会のお手伝いをさせていただいております。私も一昨年からメディカルランナーとして参加させていただいております。笹目通り、目白通り、環八通り、川越街道といった主要幹線道路中心に走るため、一昨年の小雨の降る中も、昨年の晴れて暑い中も、絶え間なく沿道からの応援があり、練馬区民の温かさを感じることができる素晴らしい大会です。その応援のおかげかランナーたちは好成績を残せているようです。



さっそく、走って来ました！

当院の多職種ランナーたち（筆者：前列右から2人目）

今年も3月23日日曜日に開催されますので、練馬区民の温かい応援を楽しみに走ってまいります。

総合外科 河野真吾

